

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	文書表現論
科目基礎情報						
科目番号	0012		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	4		
教科書/教材	主にプリント教材を配布する。4年次に使用した『「伝わる日本語」練習帳』（近代科学社）を補助教材として用いる。					
担当教員	八原 瑠里					
到達目標						
1. パラグラフ・ライティングを用いて文章が書ける。 2. 文章を読み、要約が書ける。 3. 他者との意見交換を通して、自分の意見を相対化できる。 4. 体裁を整えて書類を提出できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
自分の主張や意見を簡潔な文章で表現できる。	パラグラフ・ライティングを用いて社会的な事象に関する意見文を書ける。		パラグラフ・ライティングを用いて文章を書けることができる。		パラグラフ・ライティングを用いた文章を書けない。	
論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	文章の構成や展開を的確にとらえ、目的にあった要約を書ける。		ある程度、文章の構成や展開を的確にとらえ、要約を書ける。		文章の構成や展開を的確にとらえた要約を書けない。	
論理的な文章(論説や評論)における主張に対して、自分の意見を述べるができる。	論理的な文章(論説や評論)における主張に対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて、自分の意見を述べるができる。		論理的な文章(論説や評論)における主張に対して、自分の意見を述べるができる。		論理的な文章(論説や評論)における主張に対して、自分の意見を述べるができない。	
他者と意見交換し、多角的な視点を得ることができる。	他者と積極的に意見交換し、多角的な視点を得ることで、自分の意見を相対化できる。		他者と積極的に意見交換し、多角的な視点を得ることができる。		他者と意見交換せず、一元的なものの見方や考えに固執する。	
学科の到達目標項目との関係						
教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E2						
教育方法等						
概要	本講義では、自分の意見や意見を読み手に「わかりやすく」伝えるための文章表現力と、他者の意見や情報を正確に読み取るための読解力の育成を目指す。具体的には、パラグラフ・ライティングを用いた文書表現力と論理的思考力の向上を目指す。					
授業の進め方・方法	本講義は、基本的なアカデミック・ライティングを学習したのち、各テーマにそって受講生に読解、ワーク、発表、議論、作文をさせる。他者の意見や情報を正しく理解し、自分の意見を相対化させるために、文学作品や新聞などの教材や、グループディスカッションや発表などの方法も積極的に取り入れる。					
注意点	・ 遅刻、欠席の際は教員に事前連絡すること。 ・ 欠席した授業の課題は後日やって提出すること。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス パラグラフ・ライティング①	講義の方針を理解できる。 パラグラフ・ライティングの特徴を理解し、それを用いて自分の経験を説明できる。		
		2週	パラグラフ・ライティング②	パラグラフ・ライティングの特徴を理解し、それを用いて自分の意見を述べられる。		
		3週	事実と意見① 根拠とは	意見と事実を分類できる。意見と事実を混同せずに文章を書くことができる。意見文の根拠を読み取り、根拠の強度を高める工夫ができる。		
		4週	事実と意見② 引用の方法と出典の書き方	剽窃の危険性を理解し、正しい引用の方法と出典の書き方を用いることができる。		
		5週	事実と意見③ 図表とグラフの読み取り方	図表やグラフなどデータを正しく読み取り、その事象に関して意見を述べることができる。		
		6週	言葉と定義 勘違いから学ぶ	一語一義を理解できる。 物語内の齟齬がなぜ生じたのか説明できる。		
		7週	推敲の方法 校正記号の使い方	校正記号の使い方を理解し、文章を推敲できる。		
		8週	レポート提出 自分の文を読みなおす	提出したレポートを読みなおし、論理破綻や誤字脱字などがないか校正できる。		
	4thQ	9週	キーワードと概念 【レポート再提出】	1つの概念について他者と議論できる。1つの概念を説明した文を書くことができる。		
		10週	グループ・ディスカッション① 受講者の発表	テーマに基づいて考え、自分（たち）の考えを他者に説明できる。		
		11週	グループ・ディスカッション② 受講者の発表	テーマに基づいて考え、自分（たち）の考えを他者に説明できる。		
		12週	グループ・ディスカッション③ 受講者の発表	テーマに基づいて考え、自分（たち）の考えを他者に説明できる。		
		13週	書式を学ぶ①	正しい書式で文書を作成できる。		

	14週	書式を学ぶ②	正しい書式で文書を作成できる。
	15週	レポート提出	与えられたテーマについて自分の考えを論理的に述べる ことができる。
	16週	課題返却 フィードバック	課題と改善点を見つけることができる。
評価割合			
	レポート	課題	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	30	20	50
応用力	30	20	50
	0	0	0